

新聞小説史

昭和篇
I

著者略歴

明38年12月 福井市生
 昭2年4月 国民新聞入社
 昭5年3月 読売新聞社会部に移る
 昭6年9月 大阪毎日新聞社会部に移る
 昭10年2月 長春で大新京日報創刊
 昭13年9月 南京支局長
 昭14年5月 読売新聞退社、北京で東亜新報を創刊、主筆となる
 昭20年8月 北京で敗戦を迎え、国民政府中央宣伝部に留用される、華北日報日文版を担当
 昭21年3月 華北日報退社、5月帰国
 昭21年7月 三たび読売新聞入社、論説委員となる
 昭24年4月 コラム「編集手帳」担当
 昭31年4月 小説委員会委員となる
 昭35年12月 定年延長、コラム書き続ける
 昭47年11月 論説委員会顧問をやめる
 昭48年1月 読売新聞社社友となる
 昭49年3月 芸術選奨文部大臣賞を受賞
 昭56年6月7日 長野県茅野市にて死去

主な著書

昭18年6月 「北京横丁」 大阪屋号
 昭18年7月 「北京百景」 新民印書館
 昭27年6月 「生きている日本史」 鱒書房
 昭27年10月 「日本という名の独立国」 河出書房
 昭32年2月 「生きている中国史」 河出書房
 昭39年4月 「新聞小説史稿」 三友社
 昭42年4月 「紅衛兵」 合同出版社
 昭42年11月 「毛沢東の青春」 講談社
 昭44年2月 「東南アジアの夜明け」 読売新聞社
 昭45年5月 「唐詩選の旅」 講談社
 昭48年4月 「金日成謎物語」 番町書房
 昭49年12月 「新聞小説史 明治篇」 国書刊行会
 昭51年12月 「新聞小説史 大正篇」 国書刊行会
 昭53年4月 「白頭山に燃える」 現代史出版会
 昭53年5月 「新聞走馬灯」 地産出版
 昭55年12月 「北京歳時記」 永田書房

新聞小説史 昭和篇 I

昭和56年11月20日 印刷

昭和56年11月25日 発行

定価 6,500円

著作権者との
 申合せにより
 検印省略

著者 高木健夫

著作権者 高木有為

発行者 佐藤今朝夫

制作・島村千代子

〒170 東京都豊島区巣鴨3-5-18

発行所 株式会社国書刊行会

電話 (917)8287(代表) 振替・東京5-65209

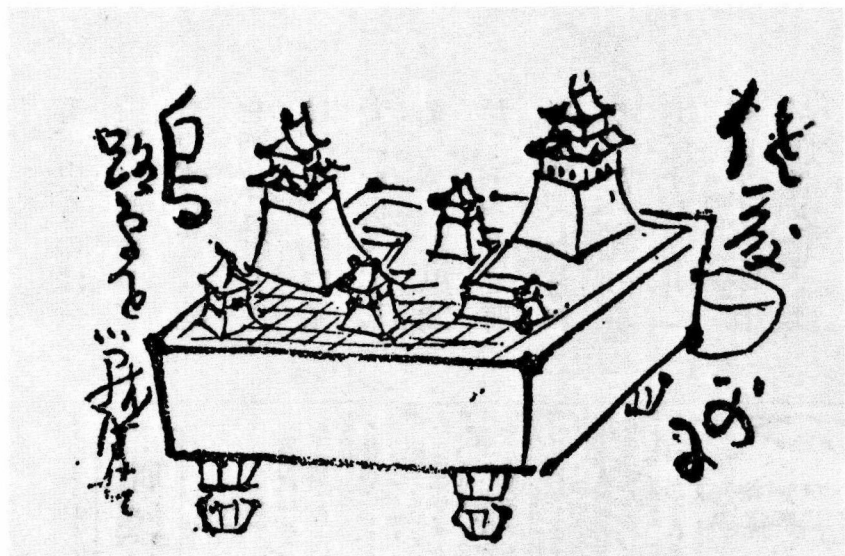
落丁本・乱丁本はお取替いたします。 印刷・セイユウ写真印刷株式会社 製本・青木製本



土師清二作「砂絵呪縛」、挿絵・富田千秋
昭和2年6月21日の東京朝日新聞夕刊より



白井喬二作「富士に立つ影」、挿絵・河野通勢



白井喬二作「富士に立つ影」、挿絵・川端竜子
大正13年7月より昭和2年7月まで「報知新聞」に連載され、河野通勢・川端竜子・木村
莊八・山本鼎の4人が挿絵を担当した。



尾崎士郎作「人生劇場」、挿絵・中川一政

刊行にあたって

本書は、骨の髄まで新聞記者であつた高木健夫氏の遺著である。ジャーナリストなるが故に、近現代文学分野における新聞小説の地位を確たらしむべく、終生筆を執ることに倦まなかつた著者であつた。

同氏の既刊『新聞小説史 明治篇』『新聞小説史 大正篇』は、文学研究者に新しい志向を投げかけたものとして共に高く評価され、特に明治篇は、昭和四十九年度芸術選奨文部大臣賞を受賞した。

近現代文学と新聞小説が、明治、大正、昭和と時を経るにつれて、互いの相乗作用を利し昇華してゆく歷程を、著者一流の洞察と炯眼を以つて綴っている。今般の昭和篇二巻で新聞小説史は完結するが、この叢書が文学を志す人々に与える影響は決して渺ないものではないだろう。

本篇ゲラ校正中に他界された著者の凄絶ともいふべき「書くこと」に対する執念は、本書の行間の随所に窺われるであろう。

末筆ながら、本篇完結を見ずしてみまかられた著者のご冥福を心から祈念するものである。

昭和五十六年十一月

国書刊行会

新聞小説史索引

凡 例

- ◇ 『 』 = 新聞紙名
- ◇ 「 」 = 作品名
- ◇ 〔 〕 = 雑誌名
- ◇ 〈 〉 = 単行本
- ◇ 『新聞紙名』→他新聞=新聞紙名の改題を示す。
- ◇ 主名→人名=2つ以上の別号・筆名を持つ場合、矢印に示し、一つにまとめて挙示した。(類推容易なるものは省く)。
- ◇ 作品名→作品名=略名・改題名を用いている場合、矢印に示し、一つにまとめて挙示した。

【ア】

「愛経」 55, 208
 会田毅 267
 「愛の赤道」 154
 「青桐証人」 143
 「青頭巾」 60
 「蒼空に仰ぐ」 27
 青野季吉 29~34, 256, 257
 「赤穂義士・隠密日記」 209
 「赤穂浪士」 60
 「赤切符」 172
 「暁の獵人」 68
 赤松静太→土師清二 119, 123, 126
 秋田雨雀 199
 『秋田魁新聞』 269
 秋田忠義 7, 241, 245
 秋永芳郎 267

秋山定輔 173
 芥川竜之介 39, 92, 134
 「朝風」 172
 「朝霧」 147
 「浅草紅団」 223, 231~240
 「浅草祭」 237, 238
 「朝化粧」 172
 「浅妻船」 172
 浅野晃 268
 浅原六朗 260
 『朝日新聞』→大阪朝日新聞・東京朝日新聞 6, 7, 24, 28, 46, 53, 69~71, 75, 77, 79~88, 93~96, 102, 111, 114, 117, 125~127, 131, 140~155, 157, 158, 160, 162~166, 183, 197, 198, 203, 204, 222~224, 228, 229, 231, 233

～239, 243, 258, 259, 264,
266, 267, 269

〈朝日新聞の作家〉 87
「足を撫でた女」 3
「阿地川盤嶽」 144
「仇討十種」 41
「仇討浄瑠璃坂」 27, 195
足立源一郎 195
「新しき生へ」 160, 165, 168
「新しき天」 68
「新しき村」 165
「暑さに喘ぐ」 270
「穴」 69
阿部真之助 135
阿部知二 268
天野為之 252
「雨乞い小町」 123
あらえびす→野村胡堂 184
「あらくれ」 243
「あらくれ」 273
荒畑寒村 25
「ある夜」 270
「安政の大獄」 10
『安東新聞』 209
「暗夜」

【イ】

「井伊大老」 24
井川洗涯 108, 109, 111
「生きている兵隊」 282
「生きとし生けるもの」 55, 69～
74, 83
生田長江 14

生田蝶介 15, 20, 134, 205
池島信三郎 24
池部釣 8
池田三山 7, 69, 70, 135
「生ける人形」 224, 235
「いさり火」 80
石井鶴三 27, 103, 104, 106, 108～
118, 140, 141
石川啄木 47, 185
石川武美 20
石川達三 82, 153, 155, 267, 268,
281
石川半山（安次郎） 122
石川六郎 82
石坂洋次郎 268
石角泰之助 237
「石田三成」 263
石橋湛山 252
石浜金作 211
石割松太郎 134, 135
「維新桜」 144
「維新前夜」 160
「伊豆の踊子」 233, 236
泉鏡花 171
「伊勢新九郎」 265
「伊太八稿」 196
「一寸法師」 55
井手訶六 145, 160～169
伊藤好市→貴司山治 148, 157, 158
伊東深水 110
伊藤彦造 126, 127
稲垣足穂 212
犬養健 79, 81, 224

井上友一郎 248~250
井上康文 268
井上義道→白井喬二 134
伊原宇三郎 239
伊原青々園 144
井伏鱒二 225
今井達夫 261
衣由子→本山荻舟 170
〈色ざんげ〉 8, 9, 13
岩崎栄 150, 267
岩田専太郎 130, 134, 141, 196, 197
岩田豊雄→獅子文六 75, 77, 78,
268
「岩見重太郎」 141
岩村忍 95

【ウ】

「上杉謙信」 141, 144
上田広 268
上野山清貢 123
植村宗一→直木三十五 29
牛原虚彦 165
「渦巻」 59
「美しき牢獄」 123
内海景善(幽水) 161, 167, 168
宇野浩二 14, 19, 194, 224
宇野千代 3~6, 8, 9, 13, 147, 195,
240, 241, 244~246, 262
「産声」 172
「海の火祭」 223, 232
「海彦山彦」 70, 75
梅谷松太郎→子母沢寛 53, 56
「右門捕物帖」 216

「有憂華」 195
浦田芳郎 18, 19
海野十三 268

【エ】

〔エコノミスト〕 124
「悦ちゃん」 79
「江戸から東京へ」 193
江戸川乱歩 47, 50, 55, 99, 128,
130, 195, 196, 208
「江戸三国志」 195
「江戸市民の夢」 141
江見水蔭 144
「艶麗風土記」 196

【オ】

大江賢次 268
「大岡政談」 56~58, 60, 62~66
大木淳夫 268
『大阪朝日新聞』→朝日新聞
15, 24, 28, 55, 68, 71, 76, 82,
83, 100, 103, 123~125, 128,
135, 151, 161, 166, 167, 169,
200, 208
『大阪時事新報』 123, 148~151,
153, 157, 158, 209
『大阪新聞』 154
『大阪履物商報』 121
『大阪毎日新聞』→毎日新聞
3, 8, 23, 24, 27, 28, 45, 49, 52
~56, 68, 100, 102~108,
117, 124, 125, 135, 143, 144,
148, 151, 152, 208, 223~

225, 227, 228, 243
「大阪落城」 10~13, 28
大仏次郎 10, 16, 22, 24, 60, 134,
168, 196, 197, 208
大杉栄 211
太田三郎 231, 239
大竹憲太郎 18
大林清 267
大宅壮一 232, 268
岡田三郎 7, 260
緒方竹虎 84, 85, 266
岡本綺堂 51, 144, 200
翁久允 258
奥野健男 206, 209
奥村信太郎 125
小倉敬二 124
小栗虫太郎 267
小山内薫 39, 69
尾崎宏次 281
尾崎紅葉 7, 102, 279
尾崎士郎 3~7, 9, 13, 218, 219,
226, 232, 239~269
尾崎秀樹 36, 49, 159, 199
「白粉蜘蛛」 217
小田嶽夫 267
小田富弥 58, 130
「男やもめ」 170
「踊子行状記」 27
「踊る地平線」 56
「己が罪」 102
小野竹喬 95
「於春」 170
「於ぼろ月夜」 170

「思い出しながら」 277
「オール読物」 141, 156, 188,
190, 192

「女の一生」 83, 87, 88
「女は泣かず」 154
「隠密縁起」 186

【カ】

海音寺潮五郎 159, 267
海賀変哲 170
「怪建築十二段直し」 134
〔改造〕 7, 21, 56, 241, 244, 262,
270

「回想記」 3
甲斐莊楠音 130
「薙露歌」 14
「雅歌」 225
『香川新報』 173
賀川豊彦 157, 165
〔我観〕 240
『角盤日報』 132

角文字→本山荻舟 170
風間完 130

梶井基次郎 3~6, 246
〈カジノ・フォリー脚本集〉
236

鹿島孝二 160
柏竟太郎→土師清二 126
「家人の心」 170
「風」 83, 85~87, 90
「風のやうに」 24, 26
「仮装人物」 277

片岡鉄兵 79, 212, 217, 223, 235

片岡徳郎 194
 片岡貢 159
 片上伸 14
 「敵討日月双紙」 15~17
 「敵討破れ傘」 128
 「家庭の友」 123
 霞亭碧瑠璃園→渡辺霞亭 24
 加藤一夫 34
 加藤定治 174
 加藤武雄(冬波) 16, 19, 24, 121
 『神奈川新聞』 269
 金島桂華 95
 金森観陽 109
 加能作次郎 55
 楠木清方 111, 141
 「壁一重」 170
 『河北新報』 217
 鎌田敬四郎 124, 125
 上泉秀信 67, 240, 247, 248, 253,
 258
 「神々の戯れ」 194
 上司小剣 25, 140
 「亀田の娘」 24
 鴨下晁湖 130
 茅原華山 211
 荻原宏一 146, 152, 214, 216
 唐木順三 72
 荻谷深隍 219
 荻谷鷺行 130
 川合仁 118
 「河上彦斎」 141, 144
 川口松太郎 39~41, 207, 214
 川端康成 3, 6, 211, 212, 223, 231

~240, 253~258, 262, 263,
 276, 277

川端竜子 8, 135, 139~141
 川原久仁於 221
 川村花菱 199, 200
 「巖窟王」 102
 「汗血千里駒」 102
 菅忠雄 188
 神田豊穂 33
 「関東防空演習を嗤う」 280
 「寛文元禄・義民時代」 179

【中】

「帰去来峠」 143, 160
 菊住昌一 97, 98
 菊池寛 10, 17, 24, 36, 38, 42, 68~
 71, 73~77, 88, 89, 93, 103,
 129, 134, 152, 155~157,
 176, 194, 195, 197, 211, 215,
 222, 270, 277
 菊池幽芳 18, 102
 「喜劇自用车」 172
 岸田国土 70, 74~77, 197, 203
 岸田劉生 110
 貴司山治 55, 148~151, 157~160
 「木蘇風俗聞書葉草採」 198
 北一輝 46
 北蓮蔵 110
 北川象一 267
 北林透馬 267
 北原武夫 268
 北原白秋 6, 17, 260, 263
 北村小松 268

北村馬骨 171
「奇談クラブ」 185, 186
城戸元亮 7, 52, 53, 56, 58, 104,
105
衣巻省三 5, 6
木下二介 141
「君は花の如く」 160
木村毅 14~16, 20, 29, 66, 67, 159
木村莊八 10, 28, 110, 113, 115,
116, 140
木村武山 28, 110
「吸血鬼」 195
『九州日報』 193, 213
京正義太郎 147
「兄弟」 69
『京都新聞』 269
「凶夢」 240
桐生悠々 279~282
「斬るな剣」 143
金烏帽子→本山荻舟 170
「キング」 90
「近世剣客伝」 175, 180
「近代数寄伝」 175
金田一京助 185
「銀の火柱」 134

【ク】

「空想家」 132
「空想部落」 68, 259~263
「釘抜藤吉捕物覚書」 51
「楠木正成」 36
「国入り三吉」 143
国枝史郎 14, 19, 55, 99, 100, 123,

128, 130, 131, 196~210
「国定忠治」 60
「虞美人草」 59
久保田万太郎 72
久米正雄 24, 29, 30, 36, 39, 70,
93, 103, 196, 223
「蜘蛛」 211
「苦楽」 39, 41, 56, 126, 152,
207, 214
倉島竹二郎 267
倉田百三 45
蔵原惟人 159
「くるい花」 229
「車善七夜話」 27
「黒石の乱闘」 43, 44
黒岩涙香 16, 102
〈黒の外套の男〉 200
「勲章」 276
「薫風の髭男」 143

【ケ】

「慶安巷談・剣俠受難」 55,
198, 207, 208
「経済往来」 276
「鵝舎」 126
「京浜国道」 269
「化粧と口笛」 223, 239
「罌粟はなぜ紅い」 6, 8, 195,
246
「月刊読売」 141
「結婚街道」 223
「結婚適齢期」 229
「結婚二重奏」 194, 195, 222

「月兎逸走」 143
 「原稿贗札説」 23
 「剣豪悲恋」 160
 「源蔵ヶ原の思い出」 247
 「現代俠客伝」 55
 〈現代大衆文学全集〉 42, 43,
 119, 142, 143
 「源平盛衰記」 23, 55, 143
 「元禄快挙」 143
 「元禄快挙録」 193

【コ】

小出英男 267
 「恋のはやり唄」 123
 甲賀三郎 196
 「行交路」 173
 「巷塵」 276
 甲田正夫 21
 幸田露伴 164
 〔講談倶楽部〕 22, 141, 146,
 152, 214, 216
 〔講談雑誌〕 15, 134, 205～207
 河野通勢 135, 140, 143
 紅梅郎→本山荻舟 170
 『神戸新聞』 154
 『神戸又新新聞』 23
 「弘法大師」 28
 「黄門廻国記」 28
 「校友会雑誌」(一高) 233
 「子を取りに」 270
 「黒白」 223
 『国民新聞』 7, 23, 28, 102, 109,
 174, 197

「心驕れる女」 224
 小酒井不木 99, 100, 130, 196, 208
 小島烏水 172
 小島政二郎 196
 小杉放庵 134
 「ゴー・ストップ」 158
 後醍醐院良正 86
 小寺菊子 274
 小寺健吉 194
 「この太陽」 67
 小林古径 110
 小林三季 141
 小林秀恒 144
 「小松長屋」 165
 五味川純平 160
 小村雪岱 130, 141, 196
 「ごろつき船」 197
 「金色夜叉」 102
 今東光 55, 208, 212, 214
 今日出海 268

【サ】

「細君解放記」 228
 西条八十 29
 斎藤五百枝 130, 141, 144, 194
 斎藤竜太郎 211
 「警笛」 194
 佐伯米子 8
 佐賀潜 160
 堺誠一郎 268
 堺利彦 25
 榊山潤 3, 6, 214, 217, 218, 241,
 242, 267

坂崎紫瀾 102
 坂崎坦 86
 坂本金作 173
 坂本繁二郎 110
 〈作家の舞台裏〉 280
 「佐久間象山の最後」 214
 桜田常久 268
 桜田有華園 102
 佐々木邦 22
 佐々木味津三 60, 211~222
 佐佐木茂索 9, 17, 18, 21
 「細雪」 281
 笹本寅 10~13, 159
 「定九郎と勘平」 151
 佐藤八郎 237
 佐藤春夫 19, 194, 224
 佐藤義亮 255, 256
 里見淳 24, 36, 39, 194, 195, 223
 里村欣三 267
 寒川光太郎 268
 沢田正二郎 14, 15, 152
 「沢村田之助」 24, 103, 193
 沢村勉 268
 「三家庭」 222
 『産経新聞』 265
 「珊瑚重太郎」 141
 『三社連盟紙』 154, 217
 〔サンデー〕 143, 144
 〔サンデー毎日〕 54, 56, 125,
 126, 133~135, 141, 143,
 144, 150, 198, 227
 「三枚襲」 170
 「三万両五十三次」 185, 186

『山陽新報』 122, 165, 171~173

【シ】

「直参八人組」 214
 繁野天来 252
 『四国新聞』 269
 「仕事部屋」 225
 『時事新報』 3~5, 9, 13, 17, 18,
 23~25, 37, 55, 100, 103,
 117, 143, 157, 208, 214, 217,
 219, 223, 225, 240~242, 244
 『四社連合紙』 27
 「次代恐怖症」 195
 「時代の霧」 154
 「字で書いた漫画」 56
 「支那軍隊百態」 25
 『信濃毎日新聞』 280
 柴田賢次郎 268
 「脂粉追放」 154
 「死までを語る」 33
 島中雄作 54
 島村竜三 234, 235
 清水幾太郎 267
 清水崑 141
 「清水次郎長」 193
 志村立美 58, 159
 下川四天 8
 子母沢寛 53, 56, 60
 下中弥三郎 181
 下村千秋 260
 「社会政策的史実に面して」
 138
 「蛇咬毒」 194, 223

- 〔写真画報〕 143
 〔写真報知〕 133
 十一谷義三郎 224
 〔週刊朝日〕 15, 17, 69, 79, 121,
 124, 126, 128, 131, 143, 258
 〔十三人〕 260
 「十字路の乙女」 167
 『自由新聞』 102
 「自由之凱歌」 102
 「修羅八荒」 126, 127
 「祝賀会席上の感想」 274
 〔淑女画報〕 123, 143
 「縮図」 156, 243, 269, 275, 277～
 284
 〔主潮〕 34
 「出帆」 26
 〔主婦之友〕 20, 167
 〔趣味〕 55
 「春雁」 264
 〈春光の下〉 13, 14
 「彰義隊遺聞」 126
 「招魂祭一景」 233
 「情死未遂」 9
 〔少女の友〕 147
 〈小説四十六年〉 240, 247, 253
 〔少年倶楽部〕 261
 「勝敗」 222
 正力松太郎 226, 228
 〈昭和初期のインテリ作家〉 240
 「女警夜話」 214
 〔女性〕 39
 〈女流作家〉 270
 白井喬二 19, 22～24, 55, 57, 60,
 100, 101, 103, 106, 119, 123,
 128, 132～136, 138, 141～
 144, 160, 180, 196, 202
 白石凡 69, 70, 85, 86
 素木しづ 123
 〔しれねえ〕 14
 「白鬼」 18, 21, 23
 代田牧一 110
 「白峰の麓」 147
 「白木蓮の花咲く頃」 270
 白柳秀湖 160
 『新愛知』 27, 209
 陣出達朗 190
 「刃影走馬燈」 217
 「寝園」 225
 「新結婚哲学」 195
 「新講談丹下左膳」 68
 〈新国劇沢田正二郎舞台の面影〉
 152
 〔震災画報〕 133
 〔新思潮〕 211, 212, 270, 272
 「真実一路」 3, 70, 94
 「神州嶺嶺城」 207
 〔新小説〕 69, 121, 123, 134, 212
 「新女性鑑」 194, 195
 「新人生劇場」 265
 「人生劇場」 6～8, 239, 245～
 248, 250～258, 263～265,
 268, 269
 〔新青年〕 24, 45, 49, 51, 52, 54,
 198
 「新撰組」 133～135
 「神体師弟影」 143